

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 25日

事業所名 スタサポ箕面校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	利用人数を2グループに分けている点。	利用人数を2グループに分け、集団中での個別サポートを実践できること。
	2 職員の配置数は適切である	3	1	毎日5名が配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		商業施設の2階に位置しており、エレベーターなどが無いため不便な状態となっている。内部の教室内はフロアはフラットになっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	1	朝礼、夕礼を実施。週1回ミーティングを実施。 (どちらともいえない:2票)	業務改善について、ウェブでの予約システムの導入の検討などを行っています。業務の振り返りながら適切な運用を目指しています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		2020年10月に教室開校の為、2021年度から保護者等の意向をお聞きしながら業務への反映を行っていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回が初めての公表です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				現時点で第三者への評価を行っていません。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月に1度の法人研修を実施。	月に数回、支援に関わる論文、知識、意見交換などを行っています。新しい考え方や、自事業所へ理念や考え方をスタッフ間で共有しながら深めています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		標準化されたアセスメントを参考として使用しています。(ヴァインランド、SM社会生活能力)	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		標準化されたアセスメントを参考として使用しています。(ヴァインランド、SM社会生活能力)	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		朝礼にてプログラムの最終調整を行っています。	一か月のミッション表(プログラム表)を作成しており、毎日の朝礼にて最終的な調整を行い、その時にあった内容や進行になるよう調整を行っております。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			一か月のミッション表(プログラム表)を作成しており、毎日の朝礼にて最終的な調整を行い、その時にあった内容や進行になるよう調整を行っております。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			一か月のミッション表(プログラム表)を作成しており、毎日の朝礼にて最終的な調整を行い、その時にあった内容や進行になるよう調整を行っております。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		アセスメントを行い、計画を作成しています。	基本的には集団でのプログラムに取り組んでいただきながら、認知面や成長段階に応じた個別的なアプローチを行っております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼、夕礼を実施、情報共有を行っています。また、朝礼にてプログラムの最終調整を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝礼、夕礼を実施、情報共有を行っています。また、夕礼時に実践したプログラムを子どもたちがどのように取り組んだかなどを共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日支援記録を残しており、保護者様との相互のやり取りを行えるツールを提供、改善なども行っております。	改善について、ウェブでのシステムの導入の検討などを行っています。個人情報に適切に保護しながらホットラインとして双方向で適時やり取りが可能なシステム運営を目指しております。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2		教室理念や教室運営目標などを周知、共有しています。 (どちらともいえない:2票)	ガイドラインに基づいた教室運営を行っています。ガイドラインについてもわかりやすく、その意味合いをスタッフ間で共通理解できるよう咀嚼してまいります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20		2	管理者兼児童発達管理責任者が参加しています。 (どちらともいえない:2票)	
	21		3	利用児童によって学校と利用日の確認等を行っています。 (どちらともいえない:1票)	今後、保護者様の承諾のもと、学校との連携(情報共有や、意見交換など)を積極的にを行い、学校の後方支援機関の役割を充分に果たせる場所を目指します。
	22		1	看護師、医師は在籍しておらず、定期巡回も実施していません。 (どちらともいえない:3票)	
	23		2	法人内の児童発達支援とは連携を行っております。 (どちらともいえない:2票)	箕面市事業所連絡会(放課後等デイサービス、児童発達支援事業者の情報共有の組織)には参加し、情報共有を行っています。またコロナ時の対応などの意見を提案しております。
	24		1	2020年10月開所の為、卒業者がおりません。 (どちらともいえない:3票)	今後、事業所の卒業者が見込まれますので、その際の福祉サービスへの移行時には情報共有を行います。
	25		1	研修は実施しております。 (どちらともいえない:3票)	支援の基礎的な考え方としての研修の資料として、外部の専門機関で実施された内容をスタッフ間で共有するなどを行っております。研修後のフォローアップが今後の課題として考えております。
	26		2	現在、設定していません。 (どちらともいえない:2票)	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	現在、連絡会(協議会)が実施されていない状況です。 (どちらともいえない:3票)	現在、文書などのやり取りで意見交換や意見の提案を行っております。今後、開催させるようであれば積極的に参加いたします。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	支援記録の共有を行っております。	今後、ウェブでのシステムの導入の検討などを行っています。個人情報適正に保護しながらホットラインとして双方向で適時やり取りが可能なシステム運営を目指しております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	送迎時の中での情報共有、アドバイスを行っています。 (どちらともいえない:3票)	2021年度から3か月に1度保護者会を実施予定です。その際のテーマとしてペアトレも扱う予定です。	
保護者への説明責任等	30		2	契約時に説明を行っております。 (どちらともいえない:2票)	2021年の報酬改定時には、改めて説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	送迎時の中での情報共有、アドバイスを行っています。 (どちらともいえない:2票)	必要な方には別途面談の案内や、学校とデイサービスの連携などの提案を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	送迎時の中での情報共有、アドバイスを行っています。 (どちらともいえない:3票)	2021年度から3か月に1度保護者会を実施予定です。その際のテーマとしてペアトレも扱う予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	法人でのお客窓口の選定中です。 (どちらともいえない:2票)	相談・苦情窓口を事業所に設定し、各自治体、大阪府と相談のチャートについては契約時に説明を行っております。今後、法人全体でのお客窓口を設置した際には改めて周知する予定です。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	毎月『ニュースレター』として、社会的なトピックスやお子さまの様子をレポートしたものを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	3	鍵のかかる書庫にて資料の保管をしています。 (どちらともいえない:1票)	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	ひらがな、イラスト、スケジュール表などを使用しています。 (どちらともいえない:1票)	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	コロナ禍で実施できていません。 (どちらともいえない:3票)	今後の企画として、地域のお店や障害福祉サービス、スペシャルニーズ教育機関とのイベントも準備しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		緊急時の対応について役割分担し周知しています。 (どちらともいえない:1票)	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1		年2回の実施。 (どちらともいえない:3票)	定期的に訓練が行われていない為、2か月に1度は実施ができるよう運営を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		年2回実施。 (どちらともいえない:1票)	法人内で2回、事業所で1回の計3回を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		契約時に重要事項説明書と、別途書面にて説明を行っております。 (どちらともいえない:1票)	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	事業所での食事提供は行っておりません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		夕礼で報告し、議事録にてスタッフ全員が共有できるようにしています。 (どちらともいえない:1票)	事故につながりそうな大きな案件や、ヒヤットした案件など、子どもたちがより安全に、導線としてスムーズに行動できるようになることを念頭において、毎日ヒヤリハットを提供、共有しています。